

第4章 道づくりの基本方針と基本目標

4-1 道路の目指す将来像

(1) 道路の目指す将来像

「新・宮城の将来ビジョン」では、県政運営の理念の実現に向けて、4つの政策推進の基本方向と18の取組を設定しており、各取組で“目指す宮城の姿とともに、SDGs^{*10}との関連性について示しています。

また、「宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030）」においても、「新・宮城の将来ビジョン」等を参考に、県土・防災分野、産業・経済分野、社会・地域づくり分野の3分野について、遠方目標として概ね30～50年後の“将来の宮城の姿”をイメージしています。

上位計画で示す将来像を実現するため、道路としての役割について検討し、前章で整理した4分野ごとに、道路として目指す宮城の将来像について整理しました。

① 防災減災分野

【宮城の将来像】



『大規模化・多様化する災害への対策の強化』

- 大規模災害に対し、防災・減災機能を備えた県土整備が全域で着実に進んでいるとともに、自治体間との連携の下、防災情報や災害情報が的確に住民へ提供され、ハード・ソフトが一体となった備えが図られています。

出典：新・宮城の将来ビジョン P.57、宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030） P.21



【道路の将来像】

『防災減災機能を備えた県土整備』

- 災害時の被害を最小限に抑え、避難や救助活動、迅速な復旧・復興活動を支える道路が整備され、防災減災機能を備えた県土整備が着実に進んでいます。

② 産業振興分野

【宮城の将来像】



『時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用』

- 東北各県が連携し、圏域内の経済や交流が活性化され、各産業の高付加価値化や交流人口の拡大が進むことで、東北が自立的に発展しています。

出典：新・宮城の将来ビジョン P.42、宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030） P.22



【道路の将来像】

『経済・交流の活性化、交流人口の拡大』

- 産業基盤として道路が整備・活用されることにより、地域間連携が強化され、経済・交流の活性化や交流人口の拡大等が進み、地域の発展を支えています。

③ 地域生活分野

【宮城の将来像】

『生活を支える社会資本の整備、維持・管理体制の充実』

○ 県民にとって身近な社会資本については、行政、住民、企業の連携・協働が推進され、地域の視点やニーズに沿った適切な社会資本が維持・共有されています。

出典：新・宮城の将来ビジョン P.58、宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030）P.21

↓

【道路の将来像】

『地域の視点・ニーズに沿った道路環境の充実』

○ 行政、住民、企業等の連携・協働が推進され、安全で快適な日常生活を支える、地域の視点・ニーズに沿った、道路環境が充実しています。

④ 維持管理分野

【宮城の将来像】

『生活を支える社会資本の維持・管理体制の充実』

○ 県土を支える社会資本の持続可能な維持管理・更新については、長寿命化の視点や先進的技術の導入による管理の低コスト化・省力化等を図り、人口減少・少子高齢化社会においても社会資本の安全性と信頼性が確保されています。

出典：新・宮城の将来ビジョン P.58、宮城県土木・建築行政推進計画（2021～2030）P.21

↓

【道路の将来像】

『道路の安全性・信頼性の確保』

○ 長寿命化や新技術導入など計画的・効率的な維持管理により、人口減少・少子高齢化社会においても、社会経済活動や日常生活等を支える道路の安全性・信頼性が長期にわたり確保されています。

※10 SDGs（持続可能な開発目標）

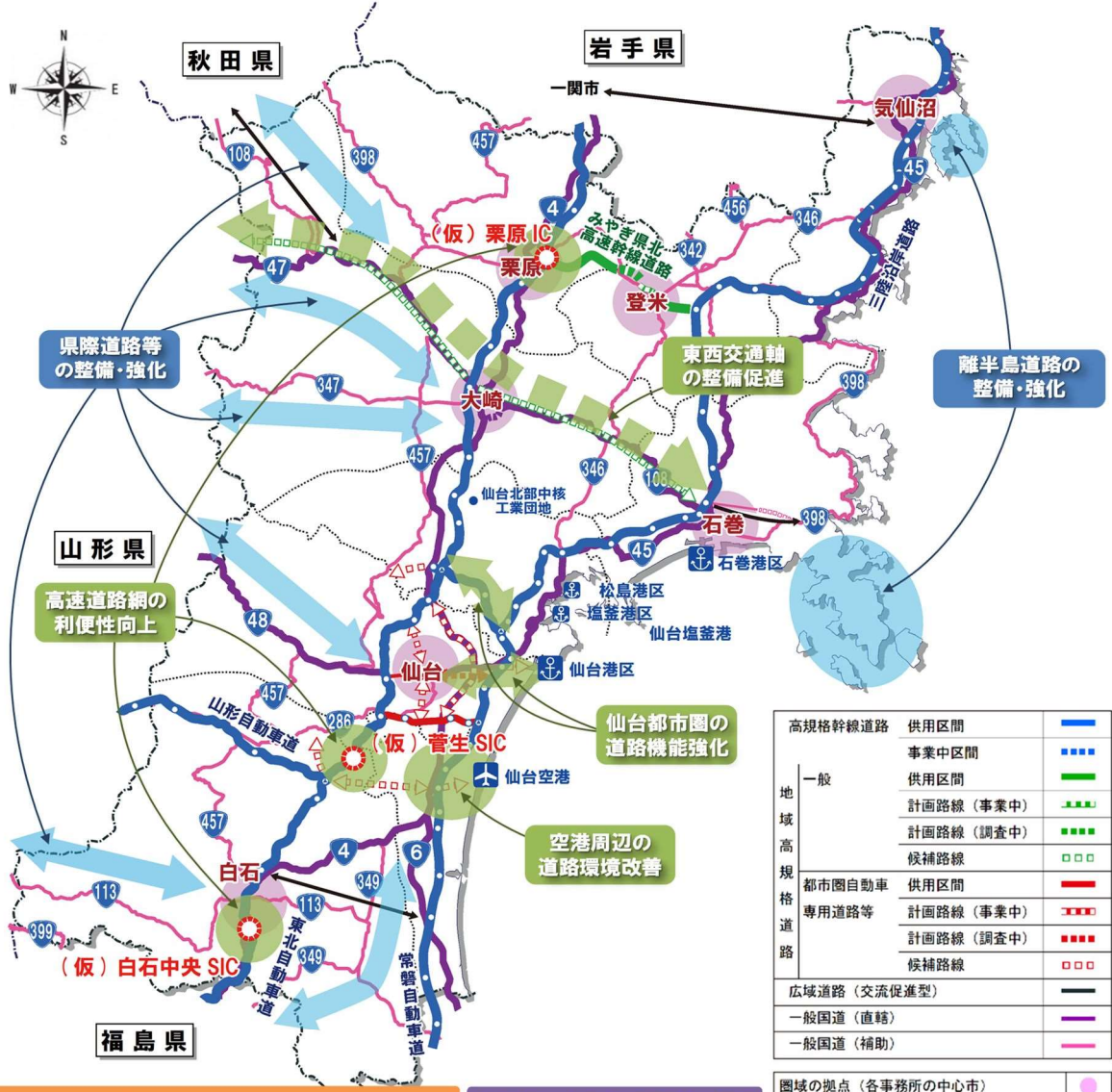
SDGs（Sustainable Development Goals）は、持続可能な開発目標のことで、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて、平成27（2015）年に国連で採択された令和12（2030）年までの行動計画です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための17の目標で構成されています。人口減少を見据えた持続可能な地方創生の実現に資することから、自治体も積極的に取り組む必要があるものとなっています。



出典：一般財団法人 日本 SDGs 協会

(2) 道づくりにより実現する宮城のイメージ

道づくりにより目指す宮城のイメージを図示しました。この将来像の実現に向けて今後の道づくりに取り組んでいきます。



→ 安全安心と持続可能な地域づくりを支える道路の整備・管理

4-2 道づくりの基本方針と基本目標

(1) 道づくりの基本方針

“道路の目指す将来像”を実現するため、上位計画である「新・宮城の将来ビジョン」の県政運営理念及び、「宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)の基本理念等を踏まえ、今後10年間に於ける道づくりの方向性として以下のとおり基本方針を設定します。

【基本方針】

『 富県躍進！ ～未来へつなぐ道づくり～ 』

⇒ 次世代に安全・安心と活力を引き継ぐ、持続可能な宮城の県土を支える道づくりの推進

- 災害時にも有効に機能する防災道路ネットワークの構築
- 宮城の更なる発展につなげる富県道路ネットワークの推進
- 安全安心と持続可能な地域づくりを支える道路の整備・管理

大規模化・多様化する災害に対し、強靱な県土づくりを行いながら、本県の経済や交流を支え、人口減少や少子高齢化の進展にともなう地域経済・社会を取り巻く諸課題に対応した持続可能な地域社会づくりを目指し、「未来へつなぐ道づくり」として、次世代に安全・安心と活力を引き継ぐ、持続可能な宮城の県土を支える道づくりを推進します。

また、基本方針等を踏まえ、「災害時にも有効に機能する防災道路ネットワークの構築」をはじめ、「宮城の更なる発展につなげる富県道路ネットワークの推進」、「安全安心と持続可能な地域づくりを支える道路整備・管理」について、重点的に取り組みます。

(2) 道づくりの基本目標

上位計画である「宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)」の基本目標を踏まえ、分野ごとに4つの道づくりの基本目標を設定しました。また、前章で整理した課題に対応する形で、基本目標ごとに取組を設定しました。

① 防災減災分野

【宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)】



『基本目標1 自然災害リスクの増大を踏まえた防災・減災対策による県土の強靱化』

出典：宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030) P.29



【宮城の道づくり基本計画】

『基本目標1 **安全** 災害に強い道づくり』

取組① 災害に強い道路網の構築

取組② 「道の駅」の整備による地域防災拠点整備への支援

取組③ 橋梁耐震化対策の推進

② 産業振興分野

【宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)】
 『基本目標2 富県躍進を支える交流・産業基盤の整備』

出典：宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030) P.35

↓

【宮城の道づくり基本計画】
 『基本目標2 **活力** 富県躍進を支える道づくり』

- 取組④ 東北・県土の骨格となる高速道路網の整備
- 取組⑤ 地域の発展を支え、地域間連携を強化する道路の整備
- 取組⑥ 交流人口拡大に向けた道路の整備

③ 地域生活分野

【宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)】
 『基本目標3 多様な主体と連携した
 持続可能な地域生活基盤の整備』

出典：宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030) P.39

↓

【宮城の道づくり基本計画】
 『基本目標3 **生活** 地域生活を支える道づくり』

- 取組⑦ 地域住民の生活に密着した道路の整備
- 取組⑧ 地域住民等と連携・協働した道路の整備
- 取組⑨ 安全で快適に暮らせる市街地の整備

④ 維持管理分野

【宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)】
 『基本目標4 加速化するインフラの老朽化に対応した
 戦略的ストックマネジメントの推進』

出典：宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030) P.44

↓

【宮城の道づくり基本計画】
 『基本目標4 **管理** 戦略的ストックマネジメントによる道づくり』

- 取組⑩ 道路施設の適正な維持管理の推進
- 取組⑪ 道路施設の長寿命化対策の推進
- 取組⑫ 新技術を活用した道路施設の更新・管理

4-3 道づくりの施策体系図

上位計画である「新・宮城の将来ビジョン」及び「宮城県土木・建築行政推進計画(2021～2030)」を踏まえ、道づくりの施策体系について整理しました。

